

図書館員のひみつの本棚 第174回

今月は読み応え十分の歴史小説です。

『凍てつく海の向こうに』

ルータ・セペティス／作 野沢 佳織／訳 岩波書店 2017年 ¥2100(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生★★☆

高校★★★★ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

1945年1月。ナチス・ドイツ政府は、孤立した東プロイセンからバルト海を經由して人々を避難させる「ハンニバル作戦」を敢行した。この作戦に使用された大型船の一つが<ヴィルヘルム・グストロフ>号。

海運史上最も悲惨な沈没事故を引き起こすことになるこの船に乗ることになった4人の若者達。看護師の経験があり、ドイツ人の母を持つリトアニア人の女性、ヨアーナ。絵画修復士をしていた東プロイセン生まれの青年、フローリアン。赤ちゃんを身籠り疎開先から逃げてきたポーランド人の少女、エミリア。ヒトラーを盲信し、妄想の世界へといつも逃げ込んでいるドイツの水兵、アルフレッド。4人はそれぞれに秘密を抱え、この戦争を生き抜いていた。

戦後ほとんど知られることのなかった史実をもとに書かれた歴史小説。

<子どもに手渡す時のポイント>

380ページを超える大作ですが、歴史の悲劇的な部分だけでなく、4人の秘密が少しずつ明かされるミステリアスな展開や、美男美女として描かれているヨアーナとフローリアンがお互いに惹かれていく恋愛小説の側面もあり、読者を物語へと惹き込んでいきます。ラストは一筋の光を残す展開となっており、読後感も悲壮感のみではありません。

語り手の4人が入れ替わりながら一つの物語を語っていくので、そこにつまずきそうな子どもには、構成について手渡すときに説明しておくといと思います。また、歴史的な史実や背景については、あとがきにわかりやすく書かれているので、その部分を紹介してください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

発行： 福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課
電話： 092-852-0639
FAX： 092-852-0801

